

常滑市 交通安全に関する事業報告

1 通学路安全推進会議

常滑市教育委員会

2 交通安全に対する意識向上の取組

常滑市立常滑西小学校



常滑市の概要



常滑市の概要

日本六古窯のひとつ「常滑焼」
観光地化した古い町並み

中部国際空港
大型商業施設の進出



常滑市の通学路事情

路側帯に十分な幅がとれていない昔ながらの狭い道路



常滑市の通学路事情

交通量の多い幹線道路沿いの通学路



常滑市 交通安全に関する事業報告

1 通学路安全推進会議

常滑市教育委員会

2 交通安全に対する意識向上の取組

常滑市立常滑西小学校



通学路安全推進会議

毎年中学校区を替えて通学路の安全対策を協議



〈委員〉

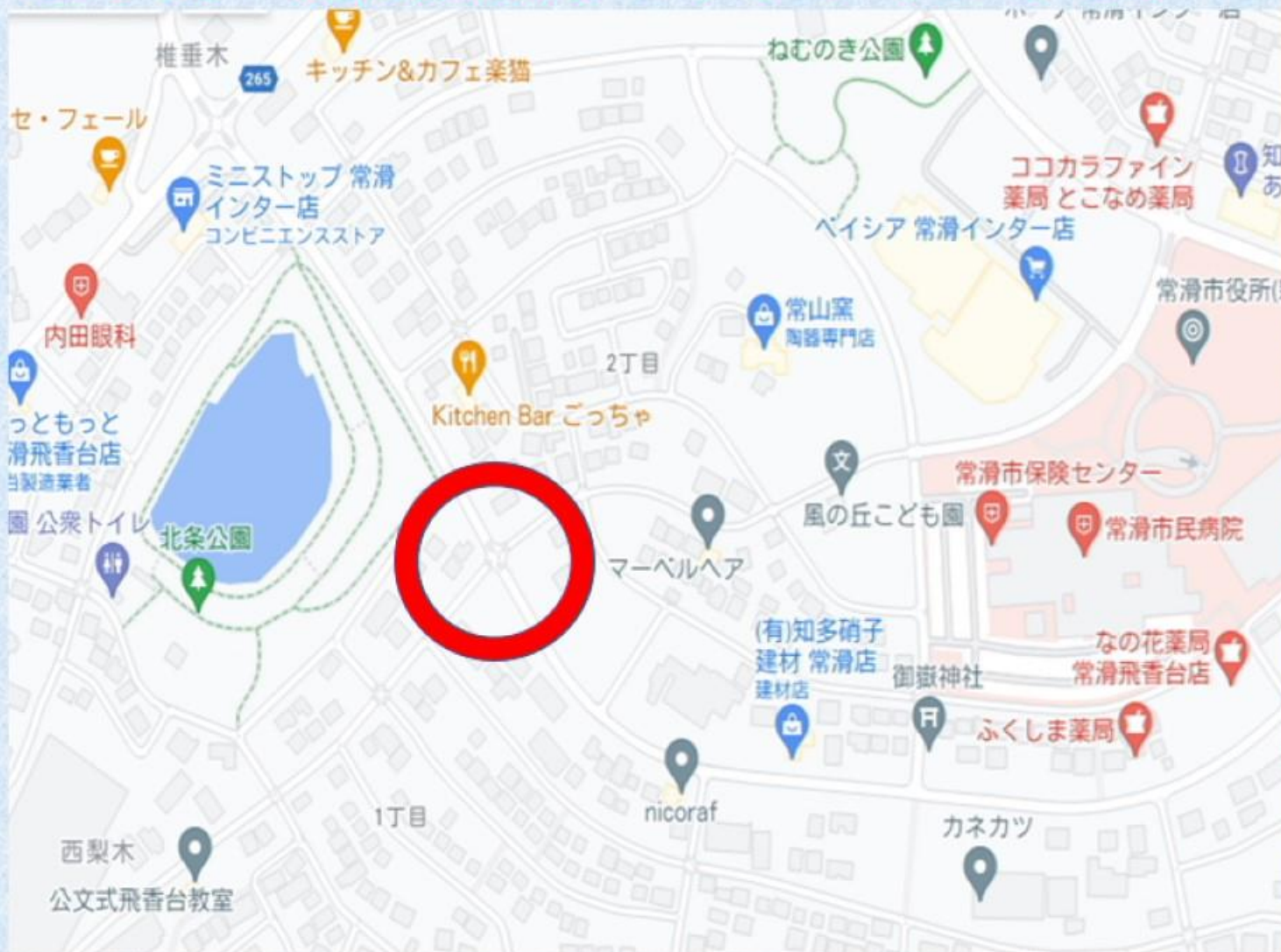
- ・ 大学院工学部教授
(アドバイザー)
- ・ 県建設事務所道路整備担当
- ・ 市土木課・安全協働課
- ・ 常滑警察署交通課
- ・ 関係区長
- ・ PTA・子どもを守る会
- ・ 小中学校の安全教育担当者

〈事務局〉

- ・ 常滑市教育委員会

①学校からの報告

通学路の危険箇所をピックアップする。



②事前調査

アドバイザー・警察署・市担当課・事務局で現地に赴き、
現状の把握と安全対策の方向性について確認する。



③通学路安全推進会議

事務局からの報告を受け、安全対策について検討する。



【学校から】

- ・ 市民病院が近くにあり、市役所も移転する予定であり、交通量がより多くなる。車が止まってくれるか見づらい。

【警察から】

- ・ 信号機を設置できる場所ではない。
- ・ 市役所移転後の状況を注視していく必要がある。

【アドバイザーから】

- ・ 赤線やエスコートラインによる注意喚起はできている。
- ・ 街路樹の移植や伐採を行うことはできるのでは。

→ 【道路管理者】 街路樹を移動または伐採していく方向で検討していく。

④担当部署の対応

会議を受け、道路管理者が安全対策を講じる。



市道 = 市の管轄



市土木課が対応

【対応策】

街路樹を伐採して

視界を確保できた。

○その他の対応



市土木課により、**路側帯のカラー化**及び**エスコートラインの改修**を行ったことで、**児童の歩行スペースの確保**ができた。

○その他の対応



土木課により、見通しの悪い横断歩道の手前の赤線や、エスコートラインの改修により、横断者や自転車通学者への注意喚起を図った。

通学路安全推進会議の成果と課題

【成果】

アドバイザーを中心に、道路管理者・警察・地域代表・学校が一堂に会し、現状や対策案を話し合ったことで、合意形成を図りながら具体的な対策を進めることができた。

通学路安全推進会議の成果と課題

【課題】

樹木の伐採やラインを引くなどの小規模な改修は、短期間で順調に進めることができた。

しかし、大規模な改修は、地域の意見をまとめること、業者に計画的に委託することなど、関係各所との調整に十分な期間が必要となる。



**推進会議を中心とした取り組みの
サイクルの見直し**

常滑市 交通安全に関する事業報告

1 通学路安全推進会議

常滑市教育委員会

2 交通安全に対する意識向上の取組

常滑市立常滑西小学校



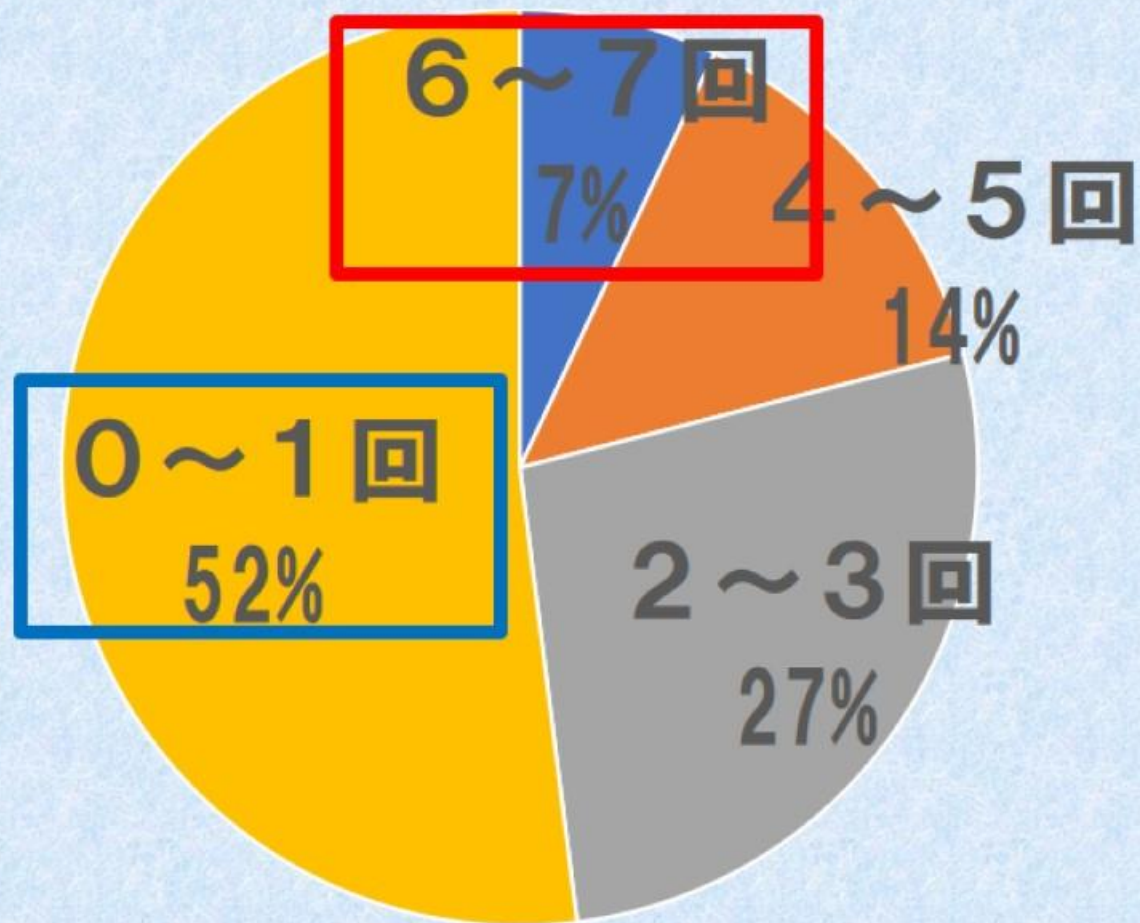
【ねらい】

交通安全に対する意識を高め、
自分の命を守ることを考え、
行動できる児童を育てる

児童・保護者の意識を高める

週に何回くらい自転車に乗りますか

6年生児童



〈本校の特徴〉
自転車に乗る児童は少ない



来年度は自転車通学
安全な自転車の乗り方
命を守る行動を
身につけさせたい！

常滑西小学校の取組

- 実践① 交通安全マップ(6月)
- 実践② 交通安全に関する授業(9月)
- 実践③ 交通安全だより(9月~)
- 実践④ アンケート調査(①7月・②11月)

実践① 交通安全マップ



安全に避難するためには、危険・気を付けた場所がよい場所をチェックしよう！

車が来たとき止まれる
スペースが少ない

道が細くみんなが列になって歩いてしまう
ので車が通るとあぶない

<方法>

チェック



道が細いけど、車はよく通る。

細い道から車が来ているのが
通学路から見えづらい

地震が発生したとき
家のへいがたおれそう

自転車がよく通る

車がよく通るけど
車線しかない

実践① 交通安全マップ

〈通学団会での話し合い〉



実践① 交通安全マップ

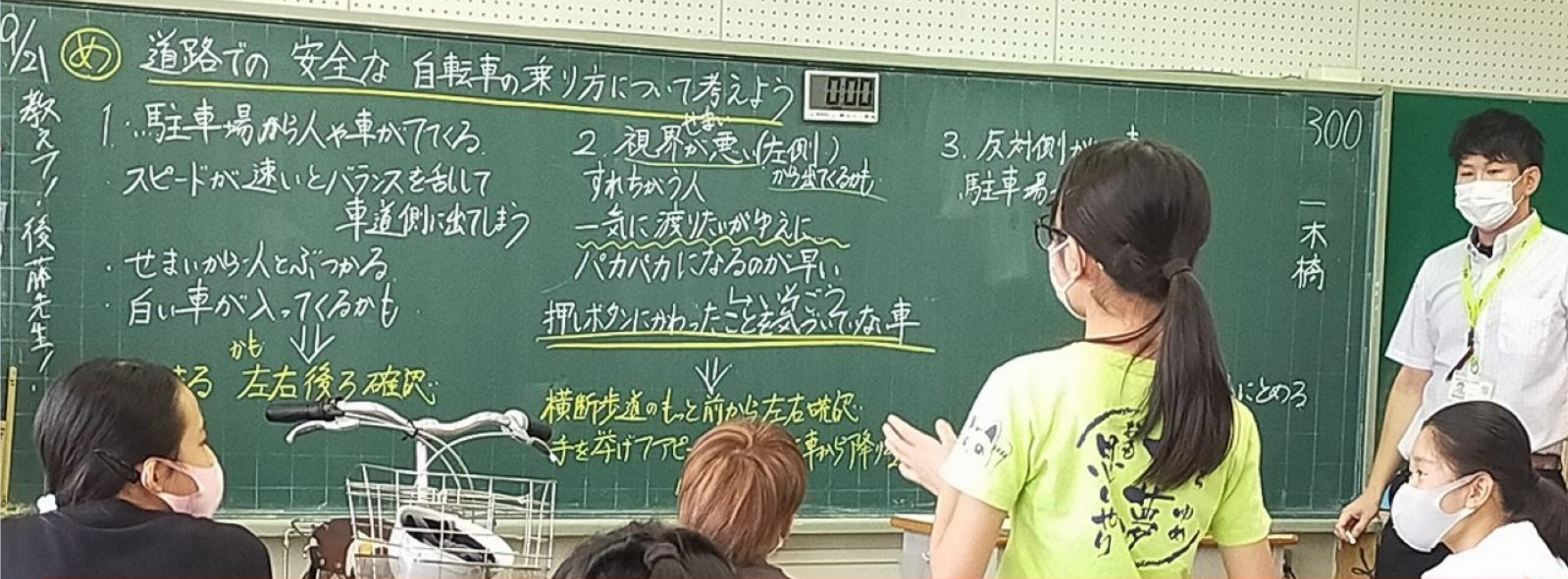
交通安全マップ 北



交通安全マップ 南



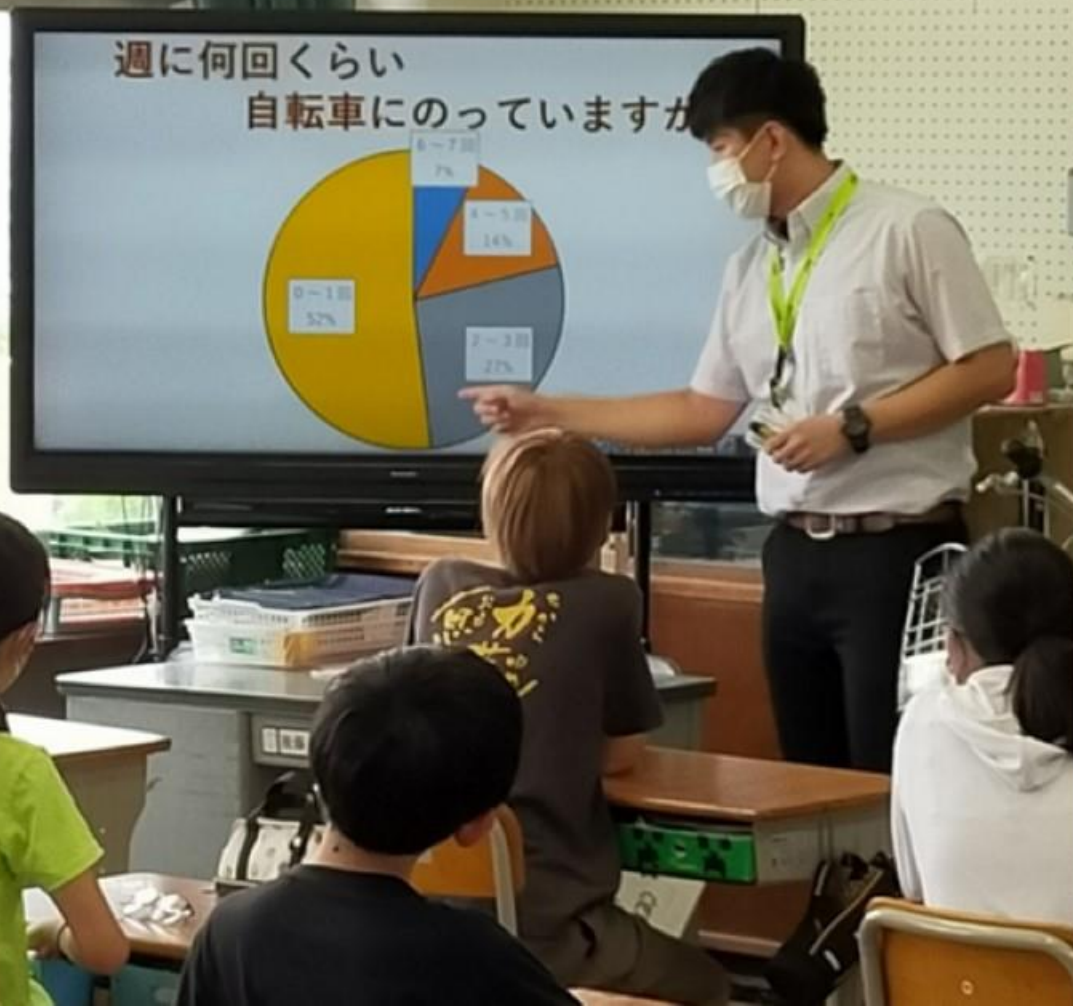
実践② 交通安全に関する授業（6年）



自転車走行で注意すること・安全な行動を考える

実践② 交通安全に関する授業

〈導入〉



自転車に乗る機会が少ない

「でも、中学校は全員が
自転車通学になるんだよね」

自分ごととして
授業に臨ませる

動画を使った授業

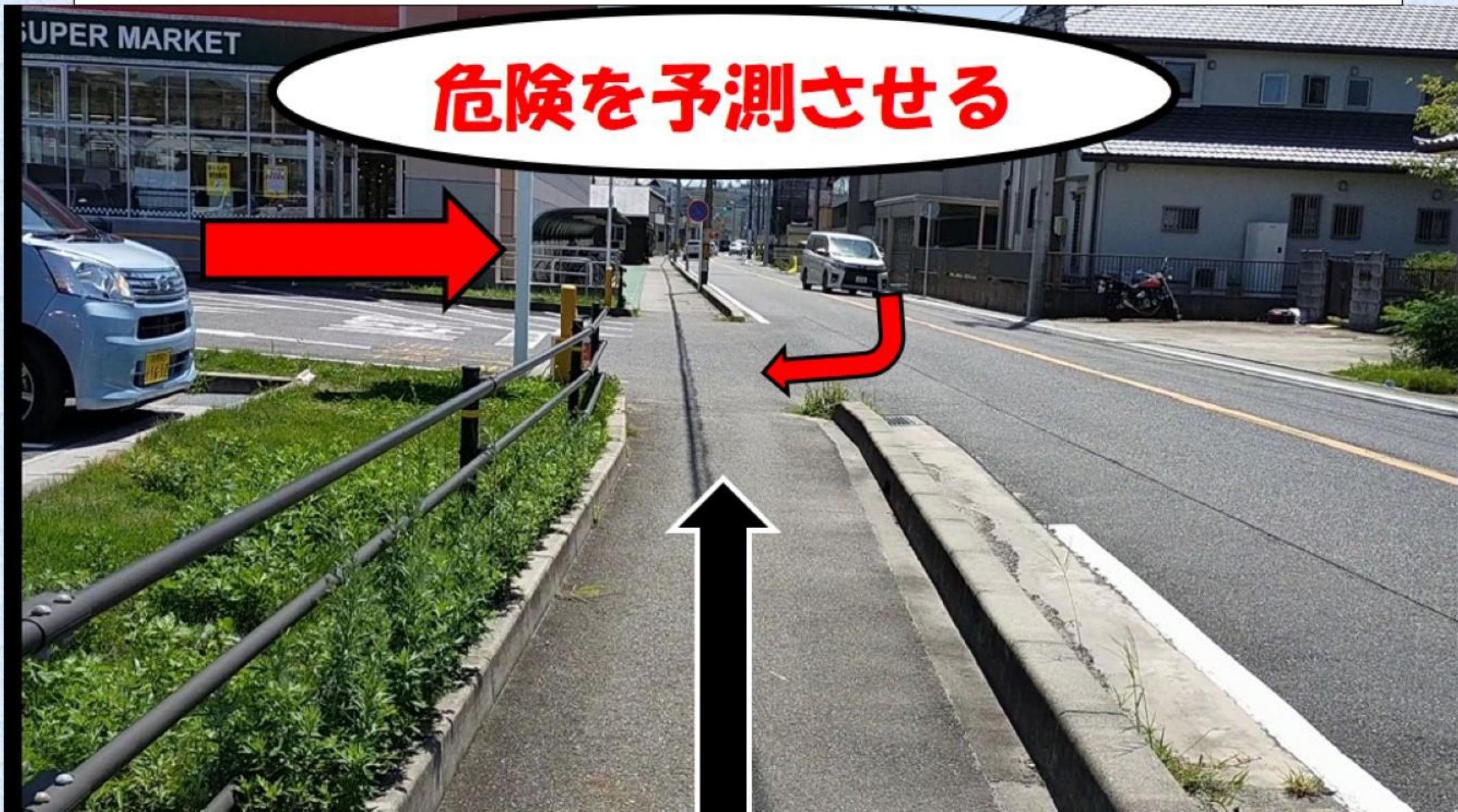
実践② 交通安全に関する授業

〈動画について〉

- ・児童から「危険がある」と出てきた場所
- ・6年職員が撮影
- ・職員が自転車に乗り、首にカメラを付け、
子どもを目線で

実践② 交通安全に関する授業

危険を予測させる



実践② 交通安全に関する授業



児童の中の
「あたりまえ」をゆさぶる

車の運転手が
知らなかったら?



実践② 交通安全に関する授業

かもしれない

周りをよく見て運転を！

事故者をおさがしています。
年6月28日(日)午前2時
分ごろ
事故が
分かった
事故を見た方は、ご連絡下さい。
〇五六九一三五〇一〇〇(内線四三六)

どんな危険があるか？

運転手の目線



新たな視点で



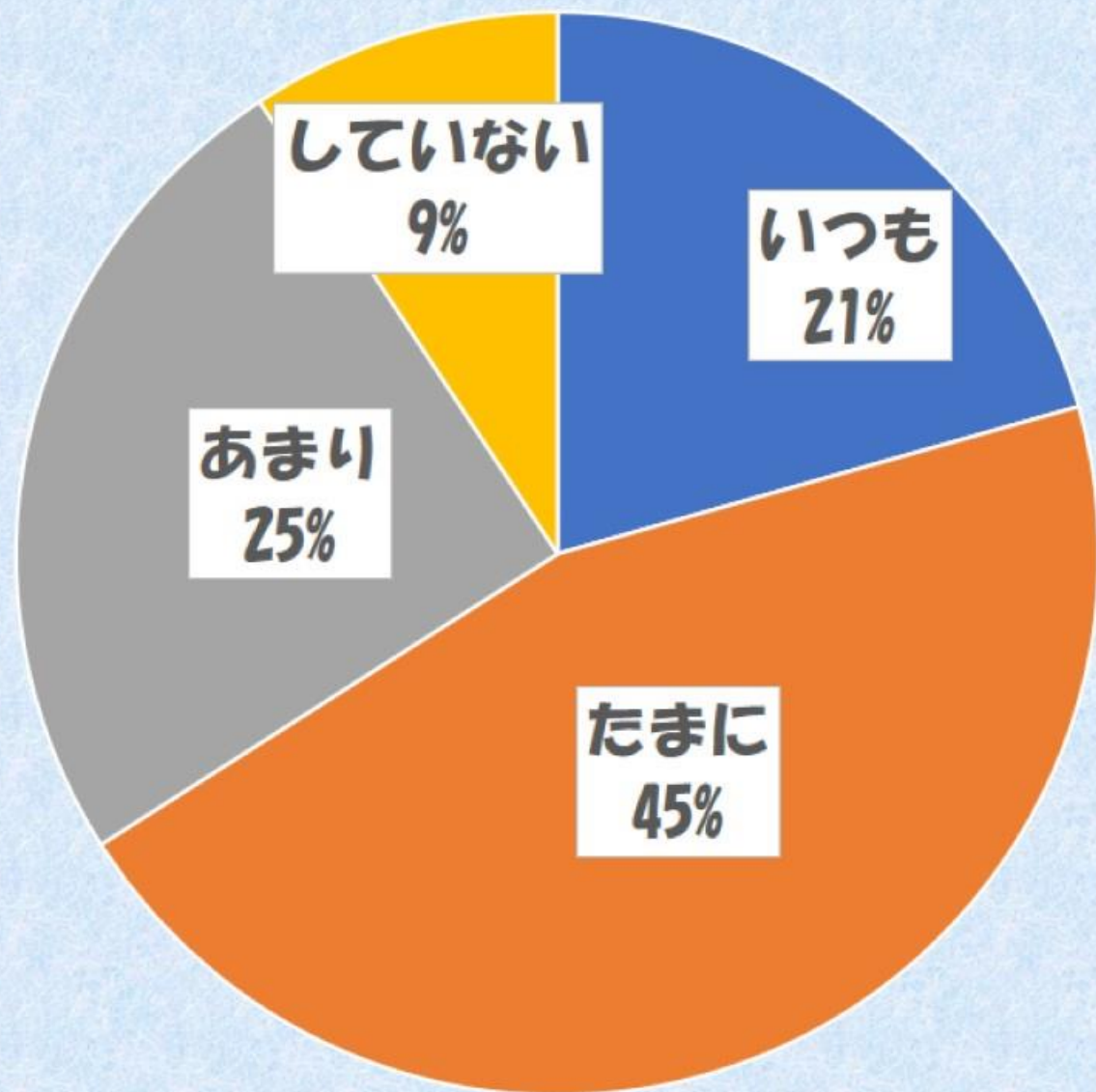
実践② 交通安全に関する授業

【児童の感想】

- ・止まって左右と後ろを確認したい**
- ・「青だから渡ろう」では、いけない**
- ・ゆっくり走らないと**
- ・車の人目線も考えないと**
- ・自分の身は自分で守る！**

ご家庭で、交通ルールについて話をすることはありますか

〈保護者：7月〉



保護者の意識

児童の意識

お便り出そう!



交通安全だより

令和3年10月15日 ①

本年度、常滑西小学校は交通安全教育に関する研究指定校となっています。中学生になると、ほぼ全員が自転車で通学をすることになる6年生を中心に、自転車乗車時の交通安全教育を進めています。1学期には、6年生の児童・保護者の皆様アンケートにご協力をいただきました。ありがとうございました。アンケート結果を活用した授業も行いました。アンケート結果は、次回以降の「交通安全だより」にてお伝えさせていただきます。

交通安全についての授業を行いました！



6年生の各クラスで、交通安全推進教師の後藤先生による自転車乗車時の危険予測の授業を行いました。「道路での安全な自転車の乗り方を考えよう」をめあてに、道路を自転車で走行する際に注意することや安全な行動について考える授業です。6年職員が夏休み中、実際に学校近隣の道路に出向いて撮影した動画を使い、スーパーマーケット駐車場の出入り口を通るときや歩道に車が止まっているときなど、いくつかの場面でどんな危険があるか、何に気を付けるべきかを考えました。

授業の中で後藤先生が繰り返していた言葉が「**かもしれない**」です。車が来る「**かもしれない**」、人が出てくる「**かもしれない**」。これを常に意識して自転車に乗ること、事故に遭ってケガをしたり、相手にケガをさせたりすることを防ぐことができます。

子どもたちは場面ごとによく考え、発言していました。ワークシートからも、一生懸命考えている様子が分かります。振り返りの一部を紹介します。

児童の振り返りより

- ・知っている道にも危険な場所があった。これからは止まって左右と後ろの確認をしっかりしたい。
- ・信号が「青だから渡る。」と思っても、車がつっこんでくるかもしれない。気をつけなきゃと思いました。
- ・自転車は勢いを付けるとなんか気持ちいいけど、人をひいちゃうかもしれないから、ゆっくり走りたい。
- ・車の人から自転車は見にくいことがわかった。車目線も考えないと事故にあうかも。
- ・自分の身は自分で守る！いったん止まる、左右や後ろの確認をする！

〈第1号〉

- ・授業の様子
- ・児童の感想

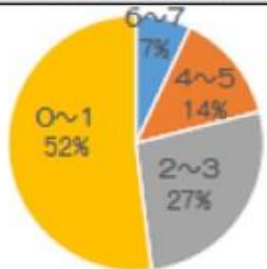
交通安全だより

令和3年10月22日

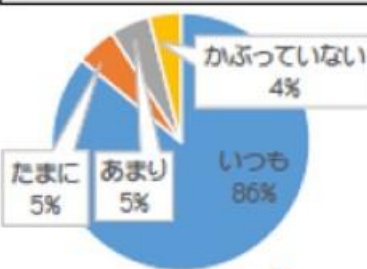
1学期に行ったアンケート結果の報告をさせていただきます。今回は児童アンケートのみです。保護者アンケートの結果については次回お伝えします。

6年生児童へのアンケート結果（一部抜粋）

①週に何回くらい自転車に乗っていますか



②ヘルメットをかぶっていますか



③自転車の点検をしていますか



3つの項目について

①のアンケートから

日頃から自転車に乗る機会が少ない児童が多いことが分かります。中学校に進学すると、ほぼ全員が自転車通学となります。中学校に入学するまでに、自転車の安全な乗り方をしっかり身につけましょう。

②のアンケートから

ヘルメットの着用は、愛知県条例で努力義務となっています（10月1日より大人も含まれました）。

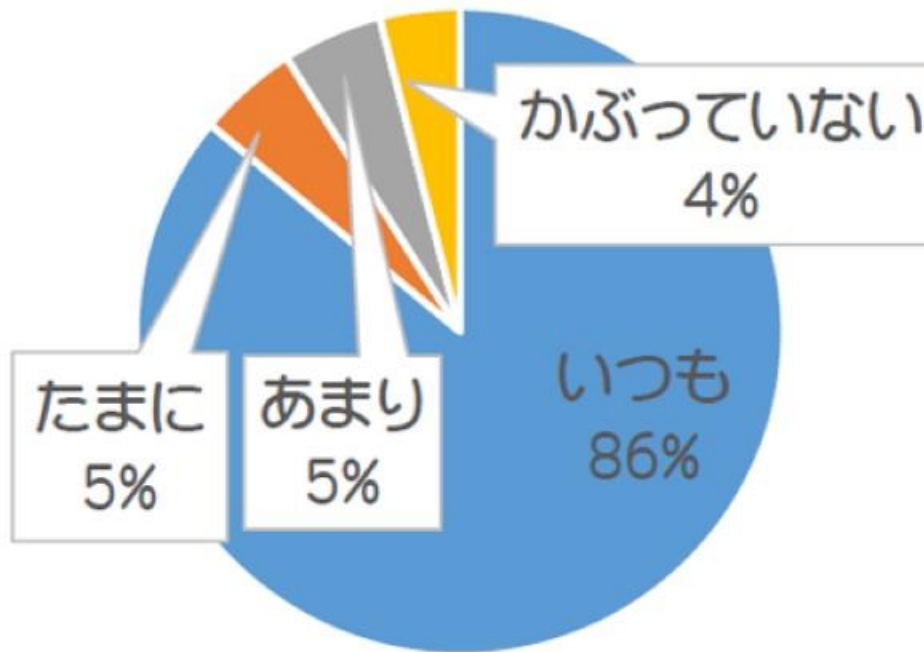
警察庁のHPを見ると、自転車事故によって亡くなった中学生のうち、頭部損傷によるものが90%、そのうちヘルメット未着用が72.2%となっています。万が一のときにヘルメットをかぶっていれば、自分の命を守ってくれることになります。自転車に乗る際には、必ずヘルメットを着用しましょう。

「いつも」「たまに」と答えた児童が半数を超えています。自転車は、使っているうちにタイヤの空気が抜けたり、不具合が出たりすることがあります。自転車の点検箇所・方法について、交通安全だより④でお知らせします。

〈第2号〉

7月アンケート：児童分

②ヘルメットをかぶっていますか



ヘルメットが命を守る！

〈第3号〉 7月アンケート：保護者分

自転車の乗り方について、どのようなお話をされましたか

- ・ヘルメットをかぶる
- ・左側を走る
- ・車やバイクが出てくるかもしれない
- ・**自転車にも歩行者にも気を付けて安全に**

自分の命 + 他の人のことも考えて

交通安全だより

令和3年11月11日 ④

今回は、自転車の整備点検についてお知らせします。

自転車に安全に乗るためには、自転車が安全な状態である必要があります。ぜひこれを参考に、ご家庭の自転車を定期的に点検してください。



点検箇所	点検すること	チェック
1 サドル	グラグラとゆるんでいないか。またがって両足が地面につくか。	
2 ブレーキ	前・後ろのブレーキはよくきくか。	
3 チェーン	ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。(1cm程度のたるみ)	
4 ペダル	よく回り、がたがたしていないか。	
5 タイヤ	空気圧はよいか。切れているところはないか。	
6 クランク	破損しているところはないか。	
7 フォーク	よく回り、まがっていないか。	
8 反射器	正しくついているか。	
9 ベル	ならしやすい場所についていて、よくなるか。	
10 ライト	あかりがつくか。(装着車のみ)	
11 名前	はっきりと書かれているか。	
12 ヘルメット	ひもの長さは合っているか。ヘルメットにひびはないか。	
13 防犯登録シール	シールが剥がれていないか。	

*自転車損害賠償責任保険等の加入は済みでしょうか? 10月より保険の加入は、自転車に乗る人の義務となりました(要知照:自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例)。

〈第4号〉

・自転車の点検の仕方

どこを、
どのように点検するか

〈第5・6号〉

・7月と11月の
アンケート結果を
比較して伝える

実践④ アンケート調査

アンケート結果をもとに、成果・課題の検証

〈実施方法〉

対象 : 6年生 児童・保護者

時期 : 1回目 7月
2回目 11月

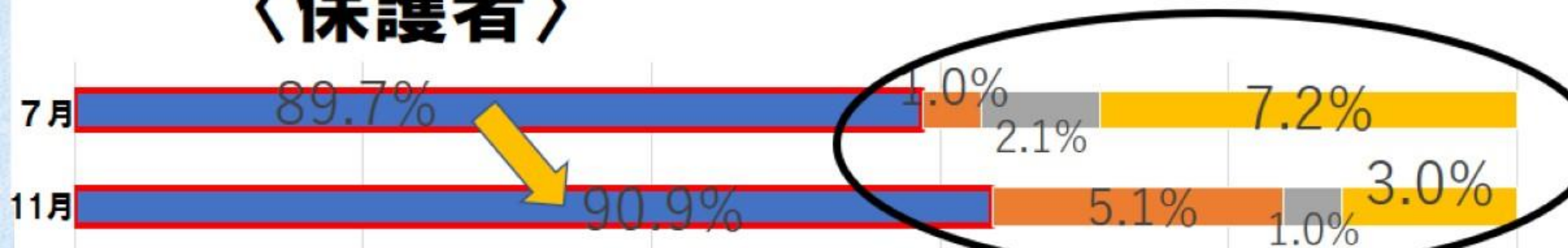
ヘルメット着用率

ヘルメットをかぶっていますか

〈児童〉



〈保護者〉



75% 80% 85% 90% 95% 100%

■ いつも ■ たまに ■ あまり ■ していない

かぶって
いない...

積み重ねの成果

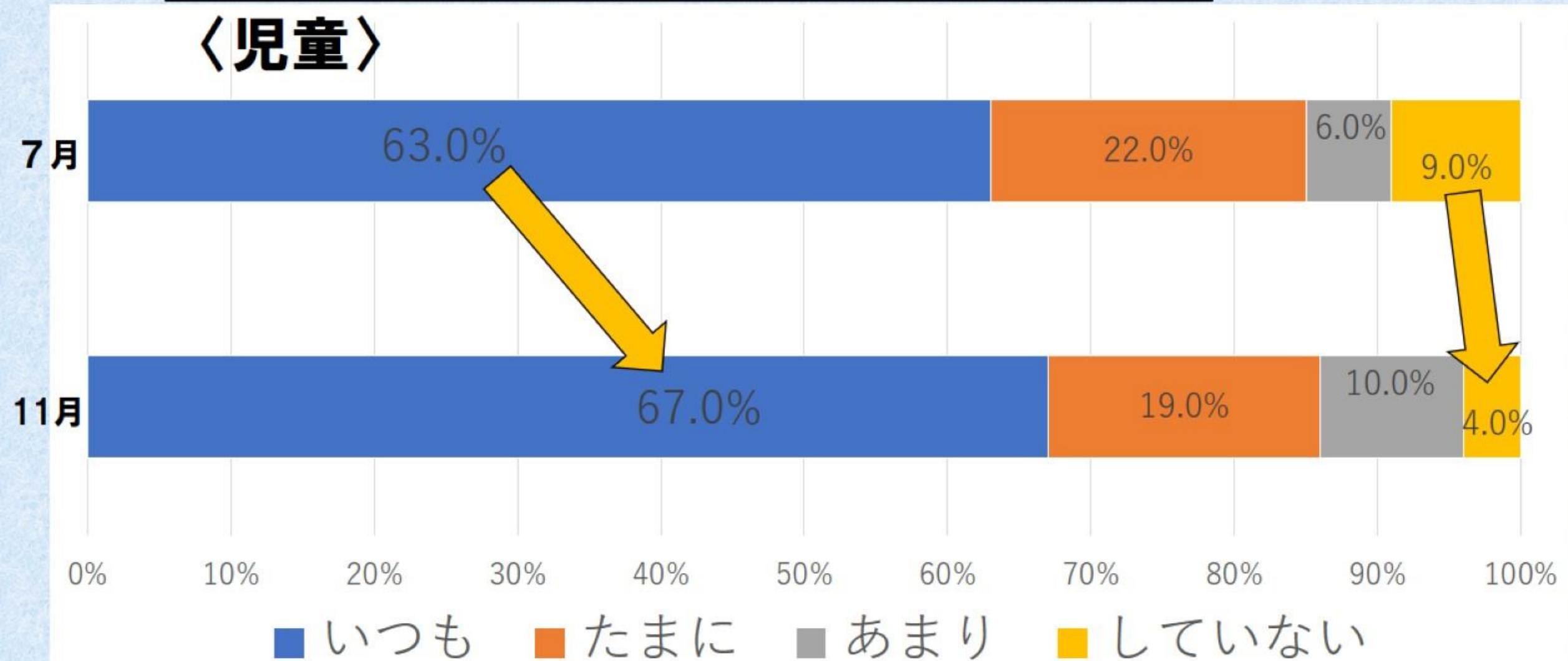


継続を！

安全な自転車の乗り方

右・左・右・後ろを確認していますか

〈児童〉

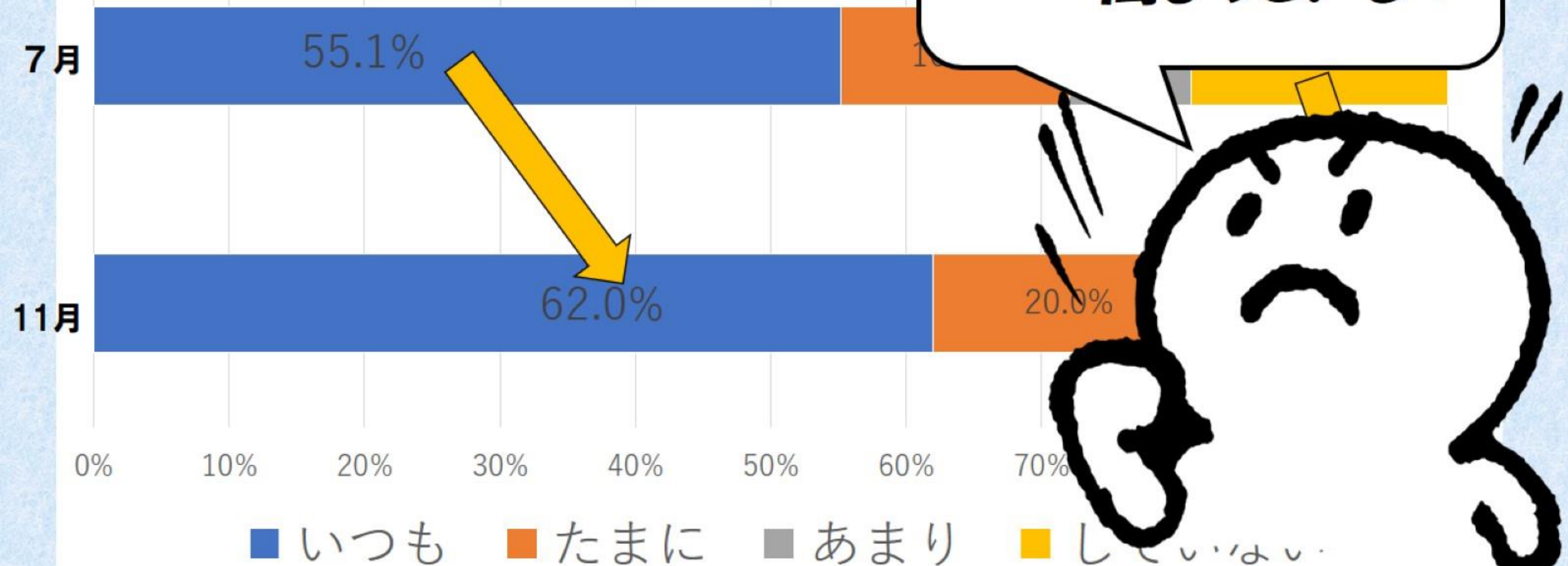


安全な自転車の乗り方

一列で走っていますか

〈児童〉

児童の意識は
高まっている！

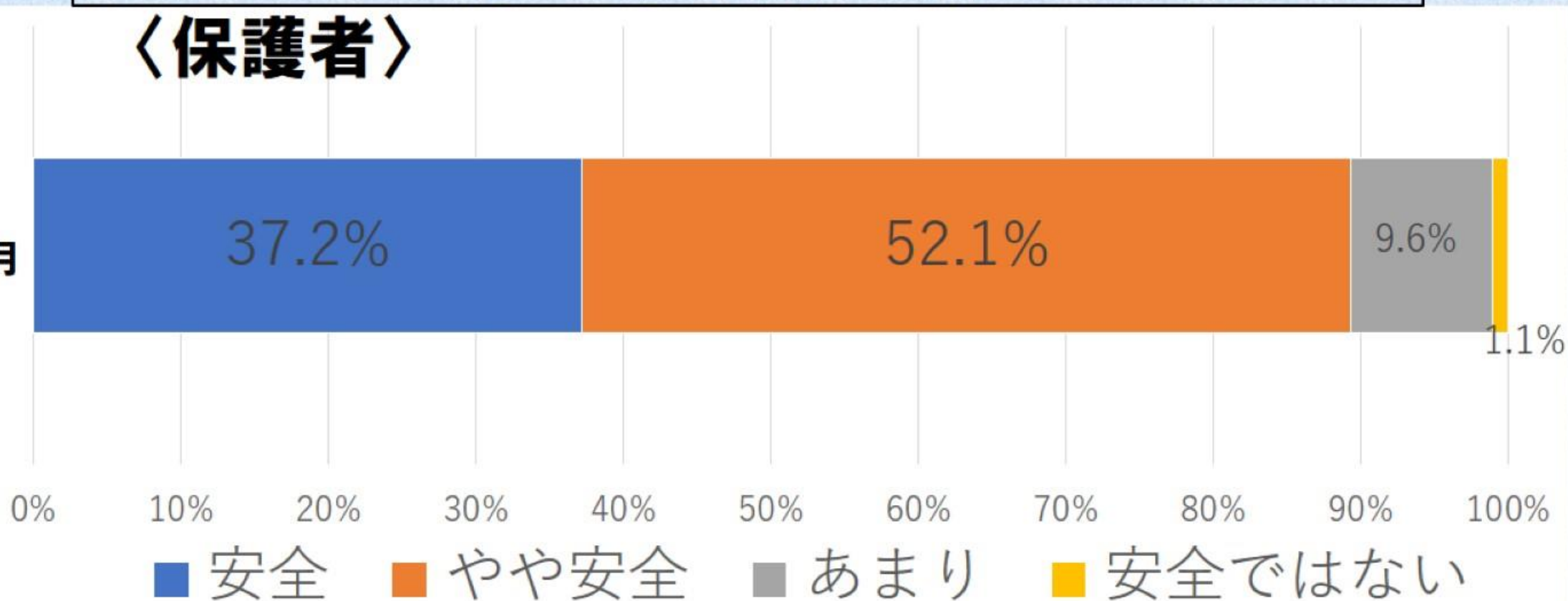


安全な自転車の乗り方

お子さんは安全に自転車に乗れていますか

〈保護者〉

11月



親から見ても、安全に乗ろうとしている！

家庭での交通安全教育

交通マナー・ルールについて話をしていますか

〈児童〉



やはり、
継続が大事だ！

〈保護者〉

意識の違いが大きい！



話をしている家庭が少ない！



家庭での交通安全教育

自転車の乗り方について、どんな話をしましたか

〈児童：11月〉

- ・信号は必ず守る
- ・車や人がいつ出てくるかわからない
- ・自転車事故はどんなものがあるか
- ・自転車点検を一緒にした
- ・弟に授業で学んだことを教えた

家庭での交通安全教育

自転車の乗り方について、どんな話をしましたか

〈保護者：11月〉

- ・スピードによって、事故に遭う確率は変わる
- ・体に合った自転車を購入する
- ・相手が止まってくれると思わない
- ・人とぶつかり、死亡させてしまうことも
- ・自分の命は自分でしか守れない

最後に

- ・取組をすることで、
児童・保護者の意識は高まってきた

〈今後〉

- ・取組の継続を
- ・情報発信をし、意識の向上に努める

ご清聴ありがとうございました

